

CNAレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 15 No.21 2013年11月15日号

問い合わせ：cnar@cnar.jp 読者登録：<http://cnar.jp>

Copyright 2013 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

■リコー、ディスプレイ搭載のオールインワン遠隔コミュニケーション専用端末を新発売

株式会社リコー(東京都中央区)は、遠隔映像コミュニケーション用新製品としてポータブル端末「RICOH Unified Communication System P1000」(以下、RICOH UCS P1000)を10月28日から発売。(10月18日)



製品名	RICOH Unified Communication System P1000	RICOH Unified Communication System P1000 [安心3年モデル]
本体保証期間	1年間無償保証	1年間無償保証+2年間保守付き
標準価格(消費税別)	128,000円	148,000円
発売日	2013年10月28日	

RICOH Unified Communication System P1000(リコー 資料)

RICOH UCS P1000 は、ユーザからの要望の多かった10.1型ディスプレイを搭載し、バッテリーも内蔵した一体型製品。持ち運びに便利なコンパクト軽量設計で、カメラ(水平面角170度超広角、180度の回転機構を搭載)、マイク、スピーカー、有線・無線LAN、簡単接続などの機能を備えている。プロジェクターなど表示装置がない場所や電源の確保が難しい工場内・店舗内などでも遠隔会議が行える便利さがある。

会議の際には、接続先をコンタクトリストから選ぶだけでコミュニケーションが行え、最大20拠点までの接続が可能(同時表示は4拠点)となっている。

さらに、クラウド上のRICOH UCS サービスプラットフォームを利用するため、現在発売中の「RICOH Unified Communication System P3000」や、iPad/iPhone、

Mac/Windows 用アプリ「RICOH Unified Communication System Apps」とも接続できる。

ディスプレイ・バッテリー一体型がRICOH UCSのラインナップに加わったことで、遠隔地やモバイルでのフェイス・トゥ・フェイスのコラボレーションがよりいっそう手軽に行えるようになったと同社では期待する。

<RICOH Unified Communication System 月額サービス利用料>

商品名	内容	金額(消費税別)
リコー UCS サービス料金 シングルフラット 15	1~3台購入時の1台あたりの月額サービス利用料	15,000円/月
リコー UCS サービス料金 シングルフラット 12	4~9台購入時の1台あたりの月額サービス利用料	12,000円/月
リコー UCS サービス料金 シングルフラット 9	10~20台購入時の1台あたりの月額サービス利用料	9,000円/月
リコー UCS サービス料金 シングルフラット 8	21~49台購入時の1台あたりの月額サービス利用料	8,000円/月
リコー UCS サービス料金 シングルフラット 7	50~99台購入時の1台あたりの月額サービス利用料	7,000円/月
リコー UCS サービス料金 シングルフラット 6	100台以上購入時の1台あたりの月額サービス利用料	6,000円/月

■従量制メニュー

商品名	内容	金額(消費税別)
リコー UCS サービス料金 ダブルフラット 6-25	1~3台購入時の1台あたりの月額サービス利用料	基本料金(6,000円/5時間利用分込み) + 超過料金(15円/分) 上限金額25,000円
リコー UCS サービス料金 ダブルフラット 6-18	4台以上購入時の1台あたりの月額サービス利用料	基本料金(6,000円/5時間利用分込み) + 超過料金(15円/分) 上限金額18,000円
リコー UCS サービス料金 ダブルフラット 3-30	1台以上購入時の1台あたりの月額サービス利用料	基本料金(3,000円/2時間利用分込み) + 超過料金(30円/分) 上限金額30,000円

月額サービス利用料(リコー資料) 詳細は同社へ問い合わせ。

■SOBA プロジェクトのクラウド型 Web 会議サービス、Android に対応:PC とタブレットが同じ会議に、1ID で PC とタブレット使い分け

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、同社のクラウド型 Web 会議サービス「SOBA mieruka cloud」(ソーバ・ミエルカ・クラウド)が Android に対応したと発表。対応日は10月17日から。(10月17日)

ミエルカ・クラウドは、今年5月から提供開始したサービス。PC にソフトをインストールする必要がなく、映像音声、スライド共有(PDF)、ホワイトボード、チャットなどの全機能が Web ブラウザで完結するクラウド型。また外部の人をゲストとして

一時的に会議に招待する機能もあり、取引先との商談等ビジネス用途を中心に幅広く利用されている。

【会議画面】



【スライド共有画面】



【チャット画面】



タブレット(Android)での会議の様子—利用方法は「カメラ」「スライド」「チャット」の3画面切り替え方式(SOBA プロジェクト 資料)

Android 搭載のスマートフォン、タブレットは同社が無償提供する専用アプリから Web 会議に参加する形になっている(ただし、利用にあたっては PC 版から申込契約が必要)。

これにより、PC とタブレットが同じ会議に参加することが可能になった。また社内では PC で参加、外出先からはスマー

トフォン/タブレットなどユーザは一つのアカウントで PC とタブレットなど複数の端末での使い分けも可能になった。なお、これによる追加料金は発生しない。

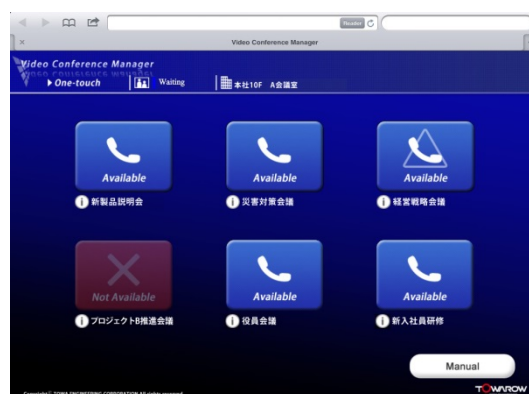
SOBA プロジェクトでは、今回の Android 対応に続き、ミエルカ・クラウドの iOS 対応を準備している。

同時接続数	初期費用	月額利用料(税込) ※月額固定	利用時間	追加費用
5	¥0	¥26,250	無制限	無し
10		¥47,250		
20		¥84,000		
50		¥189,000		

料金プラン-最大同時接続数によって契約プランを選択 (SOBA プロジェクト 資料)

■東和エンジニアリング、テレビ会議コントロールシステム「Video Conference Manager」のバージョンアップ発表、Active Directory 連携機能など追加

株式会社東和エンジニアリング(東京都台東区)は、テレビ会議コントロールシステム「Video Conference Manager(VCM)」のバージョンアップを行い、新たな機能を追加した。(10月29日)



Video Conference Manager 画面例(東和エンジニアリング 資料)

今回のバージョンアップでは、顧客からの高い要望を受けて、Active Directory と連携しユーザ情報を一元管理できるようにした。これにより、独自のユーザ ID/パスワードを発行することなく、パソコンにログインするときのユーザ ID/パスワードで Video Conference Manager を使用できる。これまでは

VCM にログインするときのユーザ ID/パスワードは独立しており、別途設定する必要があった。

また、テレビ会議着信時に接続の可否を選択できる「テレビ会議着信確認機能」や、ワンタッチでテレビ会議の収録開始および停止が行える「テレビ会議収録システム ワンタッチボタン機能」も追加された。

Video Conference Manager は、複数拠点を結んだテレビ会議でも、パソコンやタブレットからワンタッチで一斉接続ができるとともに、あらかじめ設定した日時にテレビ会議を自動で接続したり(接続予約機能)、テレビ会議の空き状況や予約状況を確認(空き状況確認機能)することができる。

さらには、接続先のカメラやマイクを遠隔から操作できたり、テレビ会議端末の通信状況(帯域やパケットロスなど)やログの確認などが行える。

■ブイキューブ、映像合成動画の制作サービスを開始

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、映像制作・配信サービス「V-CUBE プレゼンター」の提供を9月20日から開始した。(10月29日)



「V-CUBE プレゼンター」制作イメージ(ブイキューブ 資料)

プレゼンテーション映像に CG や資料を合成するサービスで、プレゼンター役が話すときの身振りや手振りや資料の映像合成を行い、CG 加工や効果音、BGM を加えることでリッチコンテンツを制作する。同社ではコンテンツ企画から撮影時の演出、制作まで一貫して提供する。

スタジオ撮影した人物と資料を合成したリッチコンテンツは、

グラフや写真の特定部分を映像の中の人物が直に指し示しながら説明することができるなど、目と耳の両方に訴える、より魅力的なプレゼンテーションを聴き手に届けることが可能になる。

「自社サービスなどを魅力的に伝えたい」、「経営方針や事業方針など、社内外に深く理解してもらいたい」「e ラーニング用、IR 用、製品デモなどのコンテンツを制作したい」「役員や社員の信任挨拶、年頭あいさつなどを配布したい」などの利用シーンを同社では想定している。

なお、同社によると、このサービスは11月末までは特別価格で利用できる。

■ブイキューブ、金融業界向けソリューションを提供開始

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、金融業界向けソリューションの提供を開始する。(10月31日)

今回発表されたソリューションでは、金融業界を担当する専任チームを編成し、多くの金融業界での利用実績を元に、システム導入だけでなく、付随する日々の運用からサポートまでワンストップで提供する。

ブイキューブは、金融機関・生損保・販売代理店など金融業界特有の営業活動や情報共有におけるコミュニケーション課題に対応する、Web 会議サービスを利用した7つのソリューションを提供する。

- (1) Web 会議サービスを使ったバーチャル営業同行を行い複雑な商品の商談効率を高める。
- (2) 専門知識を有するスタッフを全店舗に配置することなく一部の専門業務を Web 会議で遠隔から実施できるようにすることで、全店舗で高いレベルの窓口対応を提供する。
- (3) Web セミナーサービスを活用し全国規模の研修を効率化する。
- (4) Web セミナーサービスを活用し販売代理店への商品説明やコンプライアンス研修の一斉開催を実現する。
- (5) 会議にかかる時間やコストを軽減する。
- (6) 地域住民への金融教育を店舗だけでなく Web も活用

することで地域住民とのつながりを深める。

(7) 有事の際のコミュニケーション手段として Web を活用する。

ブイキューブは多くの金融業界の顧客との取引を元に、今後も金融業界に特化したソリューションの開発や提供に努めるとしている。

■ ブラザーの Web 会議「OmniJoin」、iPad や iPhone からの Web 会議を可能に

ブラザー工業株式会社(名古屋市瑞穂区)の国内販売子会社であるブラザー販売株式会社(同)は、Web 会議システム「OmniJoin」(オムニジョイン)が、iPad や iPhone などの iOS 端末に対応したと発表。(11 月 1 日)

OmniJoin の新たなサービスとして iOS 端末から Web 会議に参加できる無料アプリケーションを提供する。11 月 2 日より App Store で提供開始する。OmniJoin ユーザであればだれでも利用できる。ただし、iOS 端末から Web 会議に参加する場合は、一部の機能が使用できないようになっている。

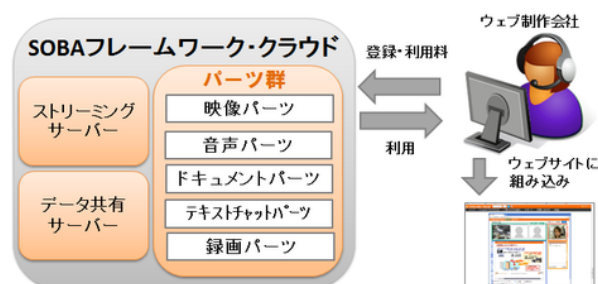
OmniJoin は、2012 年 9 月よりサービスを開始。インターネットに接続できる環境があればサービスにかかる初期費用は不要。ローコスト、高画質・高音質、簡単接続の 3 つの特長がユーザに受け入れられているという。

同社によると、近年、ビジネスにおけるモバイル端末の利用が増えていることから PC だけでなく、さまざまな端末から接続できるように改良を進めてきたが、このたび iPad や iPhone などの iOS 端末から OmniJoin を利用できるようになった。

■ SOBA プロジェクトの双方向ライブ通信開発ツール「SOBA フレームワーク・クラウド」、無償プラン開始

株式会社 SOBA プロジェクト(京都市下京区)は、同社が 9 月に提供開始した、双方向ライブ通信開発ツール「SOBA フレームワーク・クラウド」(ソーバ・フレームワーク・クラウド)の料金体系を 11 月 1 日から改定し、新料金体系では 2,500

分まで無償のプランを開始した。(11 月 1 日)



SOBA フレームワーク・クラウドのイメージ(SOBA プロジェクト 資料)

ご利用時間	初期費用	月額	追加料金
～2,500分	¥0	¥0	¥0
2,501分～7,500分		¥26,250.	
7,501分～20,000分		¥52,500.	
20,001分以上		お問合せ下さい	

新料金体系一利用時間ごとの課金(利用時間はユーザの述べ接続時間)(SOBA プロジェクト 資料)

SOBA フレームワーク・クラウドは、Web 会議などの双方向ライブ通信に必要なパーツをクラウドに用意し、ユーザ自身がウェブサイトに映像配信や音声機能などを選んで組み込むための開発ツール。

Web 会議システム開発の専門技術がなくても、ウェブ制作の知識があれば自由に構築することができる。たとえば、SNS にグループ内ビデオチャット機能を追加したり、ブログでファンに生放送をするなど、アイデア次第で新しいウェブサイト制作が可能になる。

提供パーツは、「映像音声パーツ」、「スライドパーツ」、「テキストチャットパーツ」、「録画パーツ」(近日公開予定)がある。OS は Windows、Mac、Android、iOS に対応(バージョン等は同社に確認要)している。

■ NEC と NEC インフロンティア、IT システムとの連携を強化させた新コミュニケーションサーバを発売

日本電気株式会社および NEC インフロンティア株式会社は、中大容量コミュニケーションサーバ「UNIVERGE SV9500」と、小容量コミュニケーションサーバ「UNIVERGE SV9300」を

11月5日より発売する。(11月5日)



コミュニケーションサーバ「UNIVERGE SV9500」(NEC 資料)



コミュニケーションサーバ「UNIVERGE SV9300」(NEC 資料)

IT システムと連携することでシーンに応じたコミュニケーションを実現する新製品として発売された。UNIVERGE SV9500では、ユニファイドコミュニケーション機能を融合した「UC サーバモデル」と、既存 PBX・電話等の有効活用および既存ネットワーク環境への接続性などを重視した「テレフォニーモデル」の2モデルを提供する。

従来、電話等のコミュニケーションシステムと受発注管理システムなどの IT システムは独立して運用されていた不便さがあったが、新製品は、IT システムと連携するためのインターフェイス(API)を強化したことで、グループウェアや業務アプリケーションなどとの連携を容易にした。

また、従来機種との継承性を維持するために、「UNIVERGE SV8500」「UNIVERGE SV8300」等の回線カードや、ゲートウェイ装置、電話機等の設備を最大限活用することが可能となっている。

さらに、従来と比較して、回線を収容する回線収容装置の

ラック搭載サイズを約 23%削減、回線カードの消費電力を約 10%低減し、環境への負荷低減にも貢献した。

そのほか、新製品と連携する端末ラインナップを強化し、新多機能電話機「UNIVERGE DT800/DT400 シリーズ」、防水対応 PHS 端末「Carrity-NW」、スマートフォン用ソフトフォン「UNIVERGE ST465」など用途や利用シーンに応じた端末も 11月5日より発売する。

UNIVERGE SV9500(UC サーバモデル)の価格は未定だが、テレフォニーモデルは 500 万円～。出荷は 2014 年 3 月開始予定。また UNIVERGE SV9300 の価格は 50 万円～。出荷開始は 11月25日予定。

■ポリコムジャパン、「Polycom RealPresence CloudAXIS スイート」を日本市場で提供開始

ポリコムジャパン株式会社(東京都千代田区)は、ビデオ会議ソフトウェアソリューション「Polycom RealPresence CloudAXIS スイート」を 11月6日より日本市場で提供開始する。(11月6日)

Polycom RealPresence CloudAXIS は、大企業およびサービスプロバイダー向けのクラウドサービスにも対応するビデオ会議ソフトウェアソリューション。ファイアーウォールの内外から、「Microsoft Internet Explorer をはじめとする主要なブラウザを使用してモバイルデバイスや会議室用ビデオ会議システムと接続しビデオコラボレーションが行える。

Web ブラウザによるビデオ会議でも最大 720p/30fps の高画質を実現し、Skype、Facebook、Google Talk などインスタントメッセージとの連携でビデオ会議への招待や参加が簡単に行える。

Skype、Facebook、Google Talk との連携では、これらの連絡先とプレゼンス情報を画面に追加表示することができ、その場で在籍が確認されたユーザにインスタントメッセージでビデオ会議の招待を送ることができる。

あるいは、インスタントメッセージ、電子メール、カレンダーに送られてきた招待状に記載された URL リンクをクリックするだけで会議に参加したり、PC からの資料共有もクリック操作

のみで簡単に行えるようになっている。

ポリコムとしては、B2B から B2C まで、いつでも、どこでも、誰とでも使えるビデオコラボレーションの実現を推進していく考え。Polycom RealPresence CloudAXIS スイートにより、採用の面接、顧客や取引先とのやり取り、宿泊施設におけるゲストサービスなど、さまざまな場面でセキュアなビデオを活用することができるという。

販売は、ポリコムの認定販売代理店を通じて、11月6日より正式に提供開始する。価格はオープン。

*関連記事: 定期レポート 2012 年 12 月 15 日号

■NTT-AT の AVC/H.264 ソフトウェアコーデック、パナソニックのテレビ会議システムに採用

NTT アドバンステクノロジー株式会社(神奈川県川崎市)によると、同社の AVC/H.264 ソフトウェアコーデック「HDVE-200/HDVD-200」が、パナソニック システムネットワークス株式会社(東京都中央区)の HD 映像コミュニケーションシステム「HD コム」の多地点接続ソフトウェア 新バージョン(11月6日発売)に採用されたと発表。(11月6日)

NTT アドバンステクノロジーにて昨年より販売している HDVE-200/HDVD-200 はフルハイビジョン映像による高画質で双方向の映像コミュニケーションを実現したソフトウェアコーデック。

特長としては、(1)入力映像の特性に応じた処理軽減機構を導入した「軽量・低遅延」、(2)高画質を保ちつつ安定したストリーミングを実現する正確なビットレート制御、(3) H.264 ハイプロファイルに準拠し、低帯域での高画質な圧縮などとなっている。

発売以降、他社ソフトウェアコーデックにはない特長が認められ、テレビ会議関連では、PC 用ビデオ会議システムに採用された実績があるが、この度、HD コムの多地点会議接続ソフトウェア「HDVC-MPCS Ver 2.0」に採用された。採用された理由としては、フルハイビジョン映像の多地点コミュニケーションにおいて、低遅延および低演算量を実現しながら高画質な圧縮を可能にした点という。

NTT アドバンステクノロジーとしては、今後、テレビ会議だけでなく、双方向のライブ中継や遠隔医療などさまざまな分野に拡大していく予定という。

同社担当窓口は、アプリケーションソリューション事業本部 コンテンツ流通ビジネスユニット。

■ブイキューブ、Salesforce と連携した「V-CUBE セールス & サポート for Salesforce」は「Service Cloud」とも連携

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、同社が 8 月 23 日より提供している「V-CUBE セールス&サポート for Salesforce」が、セールスフォース・ドットコム(東京都港区)のサポート業務を支援するクラウドサービス「Service Cloud」とも連携を開始と発表。(11月6日)

Service Cloud はコールセンターやヘルプデスクでのサポート業務で利用されることが多く、顧客からの多種多様な問い合わせを電話で対応している。しかし、IT サービスや複雑な製品などにおいて電話による口頭説明では内容が伝わりにくいことが多いという。

この連携によって、Service Cloud を利用したコールセンターやヘルプデスクでのサポート業務においても、Web 上で資料や PC 画面を共有することができるようになり、企業担当者と顧客との間で、“同じ情報が見えない”というストレスを解決する。加えて、その際、顧客側においては専用のアプリケーションをインストールする必要がないため、企業にとって最も重要な存在である顧客に負担をかけることなく、質の高いサポート業務を実現するとしている。

さらには、顧客と共有した資料やチャット記録などのコミュニケーション履歴が自動で保存されるため、将来的にはその履歴を活用しながら、顧客に合ったサポートを提供できるようになる。

*関連記事: 定期レポート 8 月 31 日号・Salesforce と連携した「V-CUBE セールス&サポート for Salesforce」発表

製品・サービス動向-海外

■シスコシステムズ社、エンタープライズ向けの コラボレーションソリューションの新しい製品

米シスコシステムズ社は、エンタープライズ向けのコラボレーションソリューションの新しい製品を発表した。(10月23日)

今回発表された製品はネットワーク関連とエンドユーザ端末に関連したもの。モビリティへのニーズの高まりに対応した。

(1)「Cisco Expressway(シスコ エクスプレスウェイ)」:ユーザが社内や社外など場所を問わずセキュアな状態でコラボレーションツールにアクセスすることを可能にするゲートウェイ。どこからでもコラボレーションを可能にする「Cisco Collaboration Edge Architecture(シスコ コラボレーション エッジ アーキテクチャー)」の一部として提供される。トランスポートレイヤーセキュリティ(TLS)レベルでコラボレーションツール各種に対応している。

(2)「Jabber Guest(ジャバーゲスト)」:Cisco Expresswayの機能を活用して、企業の取引先など外部の関係者が、コラボレーションにゲストアクセスさせることを可能にするソリューション。映像や音声、データの会議が行える。IM やウェブサ

イトのリンクから簡単に会議に参加できるようになっている。また、Jabber Guest は、「Cisco Contact Center Enterprise(シスコ コンタクト センター エンタープライズ)」とも組み合わせることが可能。

(3)「Cisco TelePresence MX300」

(写真上):2011年10月26日に発表された Cisco TelePresence MX300の第二世代モデル。チームもしくはルームベースのエンドポイント端末。セットアップは15分ほどで



完了する簡単さ。デュアルディスプレイ対応、4地点までの多地点機能、H.264SVCなどに対応。第二世代は12月から提供開始。



(4)「Cisco IP Phone 7800 Series」(写真左):

中堅企業向けに最適化された IP フォン。端末は人間工学を

応用したデザインを採用。直感的なメニュー画面(intuitive navigation)、ワイドバンド音声、PoE(パワーオーバーイーサネット)などに対応。PoEにより使用していないときは自動で待機モード(power down during off-hours)になり、最大60%の電源消費を節約できるとしている。

(5)「Intelligent Proximity(インテリジェント プロキシミティ)」:ユーザのパーソナルデバイスをオフィスにある製品と同期(sync)させる機能。これに対応するのがAndroidベースのスマートデスクフォン「Cisco DX650」。この11月からDX650は、連絡先一覧や通話履歴について、ワイヤレスでAppleやAndroidモバイル端末と同期させることが可能になる。また、通話中のコール(a call already in progress)もそれぞれの端末間で移行させる(move)ことが可能。

なお、今回発表されたこれらの新製品は、エンドツーエンドで端末からネットワーク管理が行える統合ソリューション「Cisco Prime Collaboration(シスコ プライム コラボレーション)」に対応する。

ビジネス動向-海外

■Arkadin Singapore 社、「Microsoft Lync」を UcaaS で提供

Arkadin Singapore 社は、「Microsoft Lync」を UCaaS(UC as a Service)で提供すると発表。(10月25日)

グローバル・コラボレーション・サービス・プロバイダ(CSP)

として、アジアパシフィック地域で初めて、シンガポール国内向けに Lync ホスティングプラットフォームを立ち上げるようになった。Lync サービスは Arkadin Singapore 社にて運営され、顧客サポートも現地語に対応した形で提供される。加えて、Lync のドキュメント共有やビデオと Arkadin 社の電話会議サービスとの統合もされており、電話会議から Lync 会議に参加することも可能。24 時間 7 日対応のカスタマーサービスを提供する。

Lync サービスのメリットとしては、ランニング費用を低く抑えることが可能なため ROI 達成が迅速に行えるという点など。

なお、アルカディン・ジャパン株式会社(東京都港区)によると、日本向けのサービス立ち上げについては現在準備中という。

導入・利用動向-国内

■シナジーマーケティング、「V-CUBE」を導入し遠隔営業により、遠方の見込み顧客への営業訪問を効率化

株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、株式会社シナジーマーケティング(大阪府北区)に、「V-CUBE セールス&サポート for Salesforce」を提供と発表。(10 月 21 日)

シナジーマーケティングは、V-CUBE セールス&サポート for Salesforce によって地方販売体制の強化を実現した。

同社はクラウドサービスを販売しているが、月額課金モデルはサービス単価が高くない。商談がまとまっていない遠方の見込み顧客への営業訪問をどう効率させるかは同社には重要な経営課題となっていた。これまでは電話によるアプローチを行っていたが、顔が見えず資料等の共有も難しいことから、口頭だけでの説明が難しい IT 商材の営業活動が進まないという課題があった。そのため、サービスの認知、市場成長に伴う地方などの商圏拡大への対応と営業経費の削減を両立させる手段を模索していた。

V-CUBE セールス&サポート for Salesforce の導入した理由としては、シナジーマーケティングが営業プロセスの中心にしている Salesforce と連携しており、V-CUBE を活用して顧客と商談した内容をそのままログとして保存できる点が

ひとつ。これまで営業報告は文字での報告となっていたが、今回の連携により営業活動の情報の動画による可視化と共有が可能となった。

もうひとつは、V-CUBE セールス&サポート for Salesforce を利用する上で顧客側に負担がかからない点。見込み客との商談において、顧客側はサービスインストールの必要がないためだ。

ブイキューブによると、導入によって、訪問しない遠隔からの営業活動を実現させるとともに、往訪しない遠隔営業により成約まで実現したケースもあり、今回の導入事例は、拠点数が多くない企業が効率的に自社サービスの販売市場を開拓できた好例という。

株式会社シナジーマーケティング

<http://www.synergy-marketing.co.jp/>

市場動向-国内

■IDC Japan、ユニファイドコミュニケーションコラボレーション市場予測を発表、2013 年上半期 1,059 億 400 万円、前年同期比 1.1%増

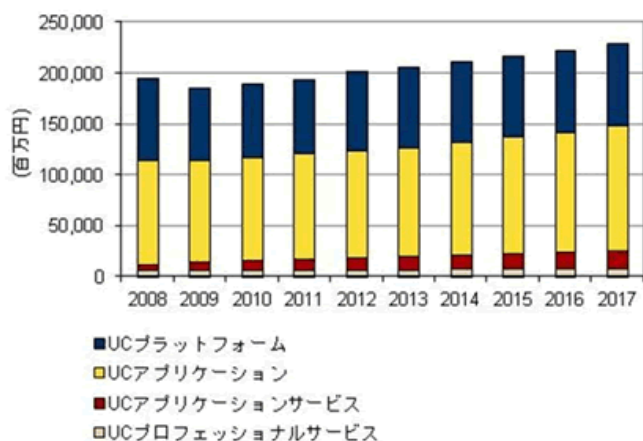
IT 専門調査会社 IDC Japan 株式会社(東京都千代田区)は、国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場の 2013 年上半期(1 月～6 月)市場動向を調査し、市場分析と 2013 年から 2017 年の予測アップデートを発表。(10 月 28 日)

IDC Japan ではユニファイドコミュニケーション(UC)/コラボレーション市場を「IP テレフォニー市場」「コラボレーティブアプリケーション市場」「IP コンファレンスシステム市場」「IP コンタクトセンターシステム市場」の 4 つのソリューション市場に分類しそれぞれの市場について調査や市場予測を行っている。

2013 年上半期(1 月～6 月)市場規模は前年同期比 1.1%増の 1,059 億 400 万円となった。

その背景としては、(1)2012 年から続いている企業の音声プラットフォームリプレイス需要が堅調に推移したため、IP テレフォニー市場が前年同期比 3.7%増と好調を維持。(2)

IP コンファレンスシステム市場では、ビデオ会議システムの価格低下や一巡感によって市場が減速したが、Web 会議サービスの成長が著しく、高機能なビデオ会議から簡易な Web 会議への市場シフトが見られた。(3) 市場シフトの傾向は IP コンタクトセンターシステム市場、コラボレーティブアプリケーション市場でも同様に見られ、自営システムからクラウド型サービスへの転換が始まっている。



国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場 セグメント別売上額予測：2008年～2017年(IDC Japan 資料)

2013年の国内ユニファイドコミュニケーション(UC)/コラボレーション市場規模は、2,058億4,100万円(前年比2.5%増)と予想している。また2012年から2017年にかけての年間平均成長率(CAGR)は2.7%で成長し、2017年には2,292億6,700万円規模へ達すると予測している。

今回の発表はIDCが発行したレポート「国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場 2013年上半期の実績と2013年から2017年の予測アップデート」(J13380108)にその詳細が報告されている。国内ユニファイドコミュニケーション/コラボレーション市場のセグメント/ソリューション別市場規模と市場予測などが示されている。

本レポートについての詳細・購入等は、報道関係が同社マーケティング、一般は同セールスに問い合わせ。

導入利用動向-国内

■内田洋行 IT ソリューションズ西日本、山崎機械製作所へウェブ会議システム「EyeVision」を導入

株式会社内田洋行 IT ソリューションズ西日本(京都市下京区)は、株式会社山崎機械製作所(滋賀県湖南市)へウェブ会議システム「EyeVision」を導入した。(11月5日)

山崎機械製作所は、井上特殊鋼グループにおいて熟間(ねっかん)型打鍛造に特化した鍛造品メーカー。大型の建設機械や新幹線のプレーキなど強度が必要な部品を製造するための特殊な加工技術を持っている。

他社にはまねできない技術を守り伝えていくために同社が特に力を入れているのが人材教育という。EyeVision によって遠隔地間同士のコミュニケーションが盛んになり、コストを抑えた形で山崎機械製作所の人材育成に貢献した。

用途としては、本社のベテラン社員から遠隔地にある拠点の新入社員への技術伝達や勉強会の開催のほか、設計図からは読み取ることが難しい製品や加工処理の問題について拠点をまたいだ技術者同士で相談を行ったりしている。

ウェブ会議システムによって、それまで直接コミュニケーションを取る機会が少なかった拠点間の交流が盛んになった。また、同社では小規模で自由な形の会議を多く開催したいという意向から、インターネットを活用したウェブ会議により専用機器を必要としない低コストでの導入を実現することができた。

内田洋行 IT ソリューションズ西日本では、今回の導入事例をウェブサイトで公開、EyeVision 導入に関する情報のほか、山崎機械製作所で考える人を育てる環境づくりの大切さについても紹介されている。

株式会社山崎機械製作所

<http://www.buhin.co.jp/yama/>

セミナー・展示会情報

<国内>

■会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:11月20日(水)、27日(水)

※全ての日程で13:30-14:30、15:30-16:30の2回開催

会場:NEC情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:日本電気株式会社、株式会社 NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformmeeting/seminar.html>

■BIG PAD を活用したクラウド型 Web 会議サービス「TeleOffice」体感セミナー

日時:11月以降2014年3月まで毎月2回開催

会場:シャープ株式会社 東京支社

主催:シャープビジネスソリューション株式会社

詳細・申込:

http://www.sharp-sbs.co.jp/event/regular/teleoffice_b.html

■Polycom Day 名古屋・大阪・福岡・東京 つながる・伝わる・広がる ~ポリコム最新映像コミュニケーション

日時:11月20日(水) 13:30~16:30(受付:13:00)

会場:ポリコムジャパン セミナールーム(東京都港区)

主催:ポリコムジャパン株式会社

詳細・申込:<http://www.polycom.co.jp/company/events.html>

■次世代ワークスタイルセミナー in 東京

日時:11月21日(木) 14:30 ~ 17:00(受付:14:00 ~)

会場:グランドハイアット東京(東京都港区)

主催:NTT コミュニケーションズ株式会社、シスコシステムズ合同会社

詳細・申込:

<http://www.cisco.com/web/JP/event/es/141/ngwstokyo/index.html>

*慶應義塾大学総合政策学部准教授 井庭 崇氏の基調講演もあります。

■iPad を営業の真の武器に！

~企業が求めるタブレットへの期待とその成果~

日時:11月22日(金) 14:00~16:30(受付:13:30)

会場:TKP 名古屋ビジネスセンター

主催:ソフトブレイン・インテグレーション株式会社

/アルカディン・ジャパン株式会社

詳細・申込:http://response.arkadin.com/ipad_2_tokyo

■Web 会議 賢く使って業務に生かす！

これから導入する企業のための、トレンドと活用法ご紹介セミナー

日時:11月26日 15:00 ~ 17:00 (受付:14:30)

会場:キヤノンソフトウェア本社(東京都品川区)

主催:キヤノンソフトウェア株式会社

詳細・申込:

<http://www.canon-soft.co.jp/seminar/details/201309261001.html>

■WEB 会議システム合同セミナー

日時:11月26日(火)13:00~16:20

会場:TKP 渋谷カンファレンスセンター(東京都渋谷区)

講演・展示:Web 会議ベンダー9社

主催:ヤマハ株式会社

詳細・申込:<http://yamaha-pjpseminar.access-y.co.jp/>

■テレワーク推進フォーラム主催

企業協賛セミナー「テレワークの進化を支えるICTソリューション」

日時:11月27日(水)13:30~16:50

会場:主婦会館プラザエフ(東京都千代田区)

主催:テレワーク推進フォーラム

協賛:日本マイクロソフト株式会社、シスコシステムズ合同会社

詳細・内容:<http://www.japan-telework.or.jp/topics/49.html>

■iPad を営業の真の武器に！

~企業が求めるタブレットへの期待とその成果~

日時:12月6日(金) 14:00~16:30(受付:13:30)

会場:トスラブ山王健保会館(東京都港区)

主催:ソフトブレイン・インテグレーション株式会社

/アルカディン・ジャパン株式会社

詳細・申込:http://response.arkadin.com/ipad_2_tokyo

国内その他:<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他:<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

* イベント情報は、情報が入り次第、随時掲載しています。

CNA Report Japan アーカイブ電子ブック版

>2003年-2012年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/

>2013年 http://www.catalog-square.co.jp/cna_report/ebook/

電子ブック制作:カタログスクウェア株式会社

<http://www.catalog-square.co.jp>

編集後記

今号もお読みいただきましてありがとうございました。

ヤマハ主催の11月26日のWEB会議システム合同セミナーでは、9社のWEB会議ベンダーの講演や展示のほか、私の方で市場動向について講演させていただくことになりました。合同セミナーによろしければご参加いただければ有難いです。なにかのお役に立てればと存じます。

次号もよろしくお願ひ致します。橋本啓介